



【韓国】 総合指数は 0.2%安と 3 週ぶり反落、中国発の新型肺炎が懸念材料

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 0.2%安と 3 週ぶりに反落。旧正月で 24 日が休場のため 4 日間の立ち会い。強弱の材料が入り交じる中、前週末の終値 2250 ポイントを挟んで一進一退の値動きとなった。サムスン電子などハイテク主力株の上昇が相場を押し上げ、週明け 20 日と 22 日に 2018 年 10 月以来、約 1 年 3 カ月ぶり高値を更新。22 日に発表された 19 年の実質 GDP（速報値）成長率は 10 年ぶりの低さとなったものの、10-12 月期が市場予想を上回ったことが好感された。一方、中国の湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大が嫌気され、23 日は連休を前に利益確定売りが優勢だった。今週は 27 日が休場。中国発の新型肺炎に対する警戒感が引き続き重荷か。経済指標は 12 月の鉱工業生産が発表される。

▼指数チャート

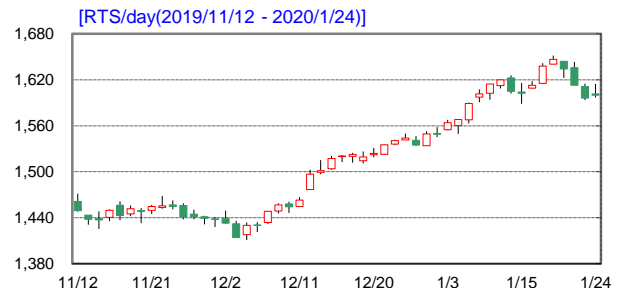


【ロシア】 RTS 指数は 2.3%安と 8 週ぶりに反落、今週も新型肺炎拡大が重しか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 2.3%安と 8 週ぶりに反落。序盤は堅調だったものの、中国発の新型肺炎の感染拡大による原油安などを受けてその後売り優勢に転じた。週明け 20 日は原油高を背景に RTS 指数が一時 1651.82 ドルまで上昇し、2012 年 4 月 4 日以来の水準を回復した。ただ、その後は高値警戒感が意識される中、プーチン大統領による内閣改造が小規模にとどまったとの見方を受け、改革期待が後退して反落。さらに中国発の新型肺炎の感染拡大を通じた世界経済の減速懸念に加え、それを受けた原油相場の大幅な下落で下げ幅を広げた。個別では原油安が嫌気され、スルグトネフテガスが週間で 10.6%安。天然ガスのガスプロムは 6.8%安、ノバテクは 4.3%安だった。今週は新型肺炎の感染拡大が引き続き重しとなるか。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は 1.3%高と 5 週続伸、今週は新型肺炎拡大が上値圧迫

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.3%高と 5 週続伸。EU との自由貿易協定の期待を背景に不動産株や金融株が上昇した。先週は 23-24 日が休場で 3 日間の取引。週明けはほぼ変わらずとなったが、EU との自由貿易協定の締結期待で 21-22 日に続伸した。欧州議会の国際貿易委員会が EU とベトナムとの自由貿易協定を支持し、欧州議会が 2 月 10 日から自由貿易協定を審議する。東南アジアではシンガポールに続く 2 カ国目の協定締結となり、関税引き下げによる経済効果への期待が高まり、指数は 991.46 ポイントと昨年 11 月 20 日以来の水準を回復して終了した。個別ではビンホームズ（4.0%高）やベトナム投資開発銀行などの時価総額上位銘柄が指数を押し上げた。今週は新型肺炎感染拡大による世界経済の減速懸念が上値圧迫要因か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.8%安、「オムニバス法」反対で労働者が抗議活動

ジャカルタ総合指数は週間で 0.8%安と反落。買い材料に乏しく軟調な値動きが続いた。週初の 20 日は、政府が国会での審議を予定している雇用や法人税に関する制度改革「オムニバス法」に反対する労働者が首都で抗議活動を行った影響で売られ、指数は 3 営業日ぶりに反落。その後は中国での新型コロナウイルスの感染拡大を背景に売り優勢の展開となり、22 日まで 3 日続落したが、23 日は反動で買い戻された。ただ、24 日は再び反落して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、28-29 日に開催される米 FOMC や 31 日に発表される中国の 1 月の公式製造業 PMI が指数を左右する展開か。

▼指数チャート

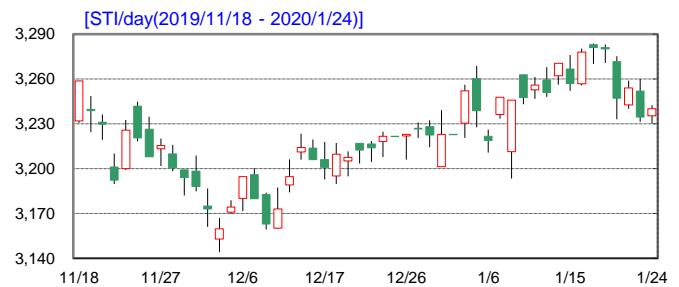


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 1.2%安、新型コロナウイルスの感染拡大が痛手

スレーツタイムズ指数は週間で 1.2%安と 5 週ぶりに反落。中国での新型コロナウイルスの感染拡大が投資家心理を冷やした。週初の 20 日に小幅に反落すると、21 日は中国当局がウイルスの「人から人への感染」を認め、世界保健機関 (WHO) が緊急事態の宣言を検討していると報じられた影響で前日比 1.0%安と続落。その後は週末まで一進一退の値動きが続いた。24 日に発表された 19 年 12 月の鉱工業生産は前年同月比 0.7%減と市場予想とほぼ一致している。今週は国内の経済イベントが少ない中、シンガポールでも感染が確認されたウイルスの広がり沈静化すれば好材料。27 日は旧正月のため休場となる。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.9%安、2 桁減益のサイアム商業銀行に売り

SET 指数は週間で 1.9%安と反落。週初から 5 日続落と低迷した。週初の 20 日は前週末に発表した 19 年 10-12 月期決算が 2 桁減益と不調だったサイアム商業銀行が指数下落を主導して反落。22 日は 12 月の輸出 (通関ベース) が前年同月比 1.3%減と市場予想の 2.1%減から上振れしたが、指数は前日を小幅に下回った。週後半も買い材料に乏しくじりじりと下値を広げ、24 日はエネルギー関連株に売りが目立ち、終値で約 2 週間ぶりの安値を更新した。今週は 29 日に 12 月の鉱工業生産、31 日に 11 月の小売売上高が発表される予定。外部要因では 30 日に発表される米国の 10-12 月期の GDP が焦点になりそうだ。

▼指数チャート

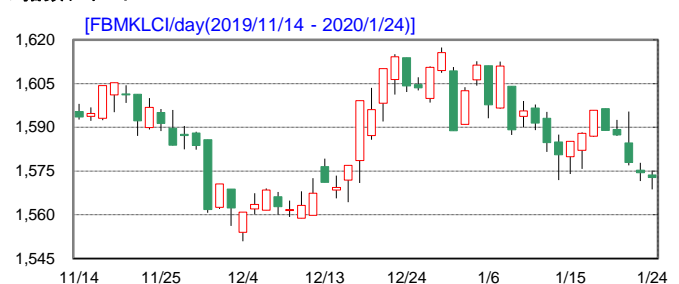


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.4%安、中央銀行が 8 カ月ぶりの利下げを決定

クアラルンプール総合指数は週間で 1.4%安と反落。じりじりと下値を広げ、週末には終値で約 6 週間ぶりの安値を更新した。週初の 20 日は利益確定売りで反落。21 日は新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受けてゴム手袋メーカーのトップ・グローブとハルタレガが買われ、下落幅を縮めた。22 日は中央銀行が市場予想に反して政策金利を 0.25%引き下げ、2.75%に設定した影響で金融株に売りが集中し、指数は下落。週後半も軟調な値動きが続き、結局 24 日まで 5 日続落して取引を終えた。今週は国内の経済イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開になりそうだ。27 日は旧正月のため休場。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。